

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 1 日（木） 13：48～15：41

場 所：滝下会館

出席者：7 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
※質疑応答
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談
5. その他
(1) 地域の防災対策について（資料④）
※質疑応答
6. 閉会

《懇談会内容》

質疑：2 年前に免許証を自主返納した人も、これから始まる支援制度の対象になるのか。

町長：制度が始まった後に自主返納した人は対象にならない予定。

意見：農村地区は交通の便が悪い。既に免許証を自主返納した人がどれ位いるのか調査した上で制度検討することが、行政の高齢者支援の在り方なのでは？

町長：調査検討はするが、自主返納支援制度とは別な仕組み（例えば町営デマンドバス）も含めてどうフォローできるのか検討したい。

提言：市街地の方で走っているスクールバスは中型バスだが、児童数が減る中でこの規模のバスは必要なのか？費用対効果は適正か。

町長：市街地のスクールバスは、一般の人が乗れる混乗方式で走っている路線もある。今後、乗者数が減るようであれば小型への検討も必要と考えている。

建設課：平成 3 4 年度のバス更新に向けて役場内の準備を進めている。今後、住民の意見を取り入れて一から運行体制を見直す予定である。

提言：滝下で走っているスクールバス（ハイエース）に一般の人は乗れないが、中型バスにすることで一般の人も乗れるようになるのではないのか。

教育長：滝下地区は、学校まで遠いため混乗にすると通学までの時間が余計にかかってしまう。児童への負担を減らすためにもスクール専用便として運行している。

意見：昔、スクールバスの乗車時間はものすごく早かったが、今の出発時間はだいぶ良くなって子どもたちの負担は減ったと思う。

意見：日赤は、受付を2回しないとダメだが、そんな不便な病院はあるのか。

福祉課：病院にどのような方法で受付しているのか確認して、簡素化できるものは伝えていきたい。

意見：日赤のベッド数はフル活用できているのか？この辺の実態を把握したうえで、改修を検討してはどうか。

福祉課：病床の利用は80%程度である。

町長：現在の90%のキャパで行うと費用は15億円落ち40億円程度になる見込み。将来の高齢化も見据えて建て替えを実施する際には検討する。

質疑：町のインフルエンザの補助で、日赤と他の病院とで予防接種の費用に差があるのはどういう理由か。

福祉課：病院ごとに料金を決めている。町から病院への補助金は病院の料金に関わらず一律で支援。できるだけ平準化するように要望している。

質疑：今回の地震の震度5弱はどの場所で計測されたのか。

総務課：役場の敷地内にある観測機で計測している。

質疑：地震で被害のあった滝下第一支線はいつ直るのか。

建設課：滝下第一支線は国の支援を使って復旧する予定。採択されれば年内に応急措置を行い、本工事は来年度になる。

意見：滝下第一支線は段差があるので、穴埋め程度の応急処置だと除雪に支障があるのではないのか。

建設課：その辺の支障が出ないように施工する。

意見：国道274号の清掃作業をしていたが、路肩が割れていた。